



山本 孝三

- 介護保険制度について
- マイナンバー制度について

北地 範久

- 大願寺地区造成事業の現状について
- 都市計画道路接続開通に伴う交通安全対策等について
- 太竹駅周辺整備事業の現状と今後の対応について
- 雨水対策事業の現状と今後の対応について

日域 究

- 大切なことは議会ファースト (fast) ですか
- 再度、大竹市選挙管理委員長に再点検作業の実態を問う

原田 博

- 犯罪被害者等支援条例の制定について
- 地域包括ケア構築に向けた市長のお考えを問う

山崎 年一

- 子どもの貧困対策について
- 岩国基地の諸問題について

寺岡 公章

- キャリアスタートウィークの状況と成果、今後の展望について

賀屋 幸治

- 小島雨水滞水池の現状分析と評価について

細川 雅子

- 小方地区における「人づくり・まちづくり」の進め方について

介護保険制度について



山本 孝三

問 法「改正」により、要支援1・2の認定を受けながらも、通所・訪問サービス給付が受けられなくなり、更に、福祉用具利用についても、今後介護2までの認定者は、自己負担・介護利用料2割に引き上げなど、本人や家族の負担増が心配されます。市の対応について伺います。

答 要支援認定を受けた方が、これまでと同様のサービスのほか、多様なサービスが受けられるよう仕組みづくりを進めています。国において介護保険制度改正の審議中であり、今後とも動向を注視し、対応していきたいと考えています。

マイナンバー制度について

問 国家権力により国民の個人情報や管理し、多額の税金を使って運用することに批判的意見が絶えません。

現時点における登録件数及び利用状況、また、情報保護対策強化・制度運用拡大に要する負担等について、報告と説明を求めます。

答 マイナンバーカードは、公的身分証明書や所得税などの電子申告に利用できるもので、本年8月末現在で、2,292件交付しています。

情報保護対策として、アクセス制御や内部不正防止対策を徹底します。現在は、新たにシステム化する業務は想定していません。



いきいき百歳体操(阿多田島にて)



北地 範久

雨水対策の現状と
今後の対応について

問 今年度、大竹地区・立戸地区に検討業務が予算化された。雨水対策元年と位置付け一日も早い対応、解決が望まれるが、今後の対応を問います。

答 新町雨水排水ポンプ場の整備は、道路と一体的に行うため、今年度は、道路線形や既存道路の接続などの概略検討を行います。

立戸地区は、冠水範囲と時間の軽減のため、流末の排水施設を整備します。概ね5年間の計画で、今年度は、調査設計を行います。

大竹駅周辺整備事業の現状と
今後の対応について

問 今年3月には再度陳情も提

出され、大竹駅周辺整備事業への市民の早期着工・早期完成の要望は強い。JRとの基本的事項の合意ができ、事業を加速度的に進める時と思われるが、今後の対応を問います。

答 大竹駅周辺整備事業は、基本設計案をもとに、関係鉄道事業者と事業費削減策を協議しています。調整が必要な機関が多く、事業規模の大きさ、特殊性などから、事業を円滑に進めるための体制作りは重要な課題と考えます。



郷水踏切から

【その他の質問】

○大願寺地区造成事業の現状について

○都市計画道路接続開通に伴う交通安全対策等について



日域 究

小方公民館廃止の経緯について

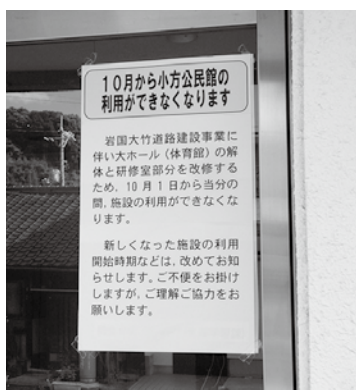
問 小方体育館が無くなることは仕方ありません。しかし公民館の1階の全部を公民館設置及び管理条例の変更をしてまで民間の法人であるシルバー人材センターにその拠点として提供する理由が分かりません。

議会にも満足な説明はなく、対象区域である小方中学校区の大部分の自治会長にも説明はされていません。唯一地元の要望で開催された小方二丁目自治会の住民対象説明会は「シルバー入居大反対」の大合唱でした。シルバーは高齢者の労務対策事業であり、公民館活動とも福祉事業とも違います。公民館を地域福祉会館と改称し、その1階はシルバーが占拠するという議案は、12月議会まで先送りし、その間に市民が納得するまで丁

寧な地元説明をすべきです。

答 小方公民館の廃止と改修後の方向性は、目途がついた段階の6月に、議員の皆様にお示ししました。集会機能として利用する小方3自治会役員や、趣味・スポーツ活動の団体など実際の利用者に配慮しながら、新たな施設の活用策、必要な機能、管理運営方法等を検討し、地域福祉活動、住民活動、生涯学習活動、避難所の4つの機能を持つ施設として整備する方針を定めました。

管理者は、陳情採択も考慮し、地域福祉推進の場とする施設の方角性に合致すると考え、大竹市シルバー人材センターを候補に、1階を使用する方向で協議しています。市民の皆様は主に2階の使用になります。稼働率からは曜日や時間帯の工夫で十分に機能を果たせると考えます。





原田 博

犯罪被害者等支援条例
制定への考えは

問 平成28年7月障害者施設で入所者が殺害された事件は、大きな衝撃でした。

一方、平成16年に制定された【犯罪被害者基本法】には、国・地方公共団体の責務などが示されており、役割、実行が問われます、本市の犯罪被害者等条例制定への考えを問います。

答 県及び県内市町の取組状況を参考に、犯罪被害者等支援条例の制定も含め、犯罪被害者等に対する総合的な支援策を検討したいと考えます。

地域包括ケア、
わたしたちは何をするの

問 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるとのうたい文句の地域包括ケアシステムの構築に向け、私たちは、どのようなことを心掛けていかねばならないのか、お考えを問います。

答 住民主体で健康づくりを進める地域もあり、介護予防意識が高いことが本市の強みです。高齢者自身も地域包括ケアシステムの担い手の一員であり、元気を維持し、地域にお住いの方がその地域の方を支える仕組みづくりを進めていきます。皆さんには取組に興味を持ち、積極的に関わって頂くとともに、自助・互助の心構えを持って頂くことが大切です。



山崎 年一

岩国基地の諸問題について問う

問 米軍は8月27日から31日まで硫黄島で訓練ができない場合、岩国基地で行うと通告しました。予備基地指定を受けた厚木・三沢・岩国の基地提供自治体や周辺自治体がすべて中止要請や抗議をしています。入山市長は、一度も中止要請や抗議をしていません。艦載機移駐を目前にして改めて市長の見解を求めます。

答 岩国基地で訓練をしないよう強く願うのは当然です。広島県も岩国基地で実施しないことや予備施設に指定しないことを要請しています。本市も、特に影響を受ける阿多田島への配慮とF35B配備に伴う騒音予測の早期実施と説明を要望しています。

子どもの貧困対策について問う

問 厚労省の調査では、我が国の子どもの貧困率は6人に1人が貧困状態で、貧困線は122万円です。本市の実態を正しく把握し地域の実情を踏まえた対策が必要です。子どもの貧困の実態把握について問います。

答 母子保健や児童福祉サービス等で保護者や子どもと接する際に把握に努め、具体的な支援や見守りにつなげることが重要と考えています。

子どもの貧困への支援制度は、広報紙等で周知に努めています。未申請の対象家庭を把握した場合には、個別に相談を進めています。





寺岡 公章

キャリア・スタート・
ウィークについて

問 今年の夏も市内の全中学2年生が5日間のキャリア・スタート・ウィークに挑みました。

約10年間継続しているこの事業ですが、受け入れてくださる市内事業所の絶大なご協力のもと、学校現場や教育行政では、長年、大変なご苦労をして生徒と事業所を結んでこられました。

これまでの取り組み、近年の状況、また今後の展望の他、学校での生徒受け入れや、効果を確保するための追跡調査、関係者によるキャリア教育の理念の共有について伺います。

併せて、わがまちプランの大きな柱、「大竹を愛する人づくり」との関連性をどう認識しておられるか、お聞かせください。

答 開始から地道に受入先を増やし、今では70力所を超す事業所で職場体験を行っています。また、小中学校での受入は学校の現状や生徒の希望を聞き検討します。職場体験をした生徒の本市への就職状況は未把握ですが、大竹で働き、住み続けたいと思うような生徒の育成に努めます。取組が形式的にならないよう学校や推進委員会での確認し、子ども一人ひとりが自ら生き方を選択できる能力、態度を育成する取組を実現したいと考えています。

子どもたちが仕事という新たな視点でまちと接し、その誇りと愛着がやがて大竹に帰ってくることに繋がると感じています。受入事業者とも一緒に子どもたちを育てる機運が醸成され大変感謝しています。



協力事業所に立てられたのぼり



賀屋 幸治

小島雨水滞水池の
現状分析と評価について

問 大竹市の雨水対策の中で小島雨水滞水池は上流域の雨水調整機能を担っている。近年の地球温暖化による気象変動で、全国各地で記録的な豪雨被害が発生しており、本市でも雨水対策の充実が必要である。

小島雨水滞水池の航空写真を見ると滞水面積の約40%位が水面を葦で覆われ、土砂が堆積している様に見えるが、この状況で滞水池としての調整能力について現状をどのように分析し、どう評価しているのかを伺います。

また、直近流入水路の断面積が上流側（幅4.4m×深1.4m）に対し下流側（幅1.6m×深1.4m）が半分以下に絞られた区間があるが、この対策について伺います。



小島雨水滞水池

答 平成22年度に滞水池の横断断面調査を実施し、おおむねの滞水能力が確保されていることを確認しています。

記録的な豪雨被害が全国で発生し、雨水対策の充実が求められますが、現状では大雨が予想される場合はポンプを先行待機運転し、滞水池の水位を予め低下させるなど、浸水被害等を未然に防ぐよう対応しています。引き続き、適切に維持管理を行い、雨水対策を行います。

小島雨水滞水池への水路断面は、改良を要する箇所がありますが、実施には相当の費用が必要であり、下水道事業全体のバランスと経営状況を考慮し時期や手法などを検討する考えです。当面は浚渫などの維持管理を着実に実施していきます。



細川 雅子

小方地区における「人づくり・まちづくり」の進め方について

問 市長は今議会において、地区公民館である小方公民館の廃止を提案されました。予定では、平成30年4月に、高齢者福祉に軸足を置いた地域福祉の活動の場、人は配置しない空間として再出発します。

地区公民館には、社会教育と併せて地域におけるまちづくりの拠点としての役割があります。小方地区における社会教育とまちづくりを今後どのように進めるのかお尋ねします。

(仮称) 地域福祉会館
の二階部分の図面



答 福祉という言葉キーワードに、みんなが幸せになるため、お互いが支え合い、力を出し合って、新しい施設が機能する仕組みをつくり、市全体の発展につなげたいと考えています。そして(仮称)地域福祉会館を拠点に、さらに安心して過ごせ、きずなができるようなまちを目指していきたいと思っています。

今後の生涯学習、社会教育の推進には、総合市民会館の地区担当職員が中心となり、地域課題や学習ニーズの把握等に努め、生涯学習講座の充実や課題の解決に向けて、役割を担っていきたいと考えています。これからも、地域コミュニティの拠点として、また生涯学習、社会教育活動の場として、協働した取り組みができるよう工夫していきます。

第3回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案など	児玉朋也	末広和基	賀屋幸治	北地範久	西村一啓	和田芳弘	大井 渉	網谷芳孝	藤井 馨	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	原田 博	田中実穂	山本孝三	審議結果
議案第47号 大竹市立公民館設置及び管理条例及び大竹市立公民館使用条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	●	原案可決
議案第48号 市道路線の廃止及び認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号 平成28年度大竹市一般会計補正予算〔第2号〕	—	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	●	原案可決
議案第50号 平成28年度大竹市介護保険特別会計補正予算〔第1号〕	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号 平成28年度大竹市一般会計補正予算〔第3号〕	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
認第4号 平成27年度大竹市水道事業会計決算の認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認第5号 平成27年度大竹市工業用水道事業会計決算の認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認第6号 平成27年度大竹市公共下水道事業会計決算の認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

○：賛成 ●：反対 —：議長（議長は採決に加わりません）